

障害者福祉課の取組

事業の目的

障害のある方のスポーツ実施率の向上を目指し、その機会を提供する
市内トップチームと連携することで、スポーツを「する」だけでなく「見る」・「応援する」ことに繋げ、地域の活性化を目指す

主たる事業

- 軽スポーツ大会
- FC東京によるサッカー教室(子ども対象・福祉作業所対象)
- 東芝ブレイブルーパス東京によるラグビー教室(子ども対象・福祉作業所対象)
- 東芝ブレイブルーパス東京によるジャパンラグビーリーグワン観戦企画(障害のある市民と家族)
- アルバルク東京による体操教室(障害のある18歳以上の市民・福祉作業所)

今年度の実績・成果

- 軽スポーツ大会では、例年通り多くの方に参加いただいた。当日の一般参加も40名弱の参加があった。
- 子ども向けサッカー教室については、一定数の参加者を確保している一方、新たな参加者(特に中学・高校生)の確保に課題がある。
- 福祉作業所向けボールレク教室では、昨年の反省を活かし実施時間の変更と内容の変更を行うことができた。
- ラグビー教室は一定の参加実績がある一方で、ラグビーという競技にハードルを高く感じている可能性もある。現役選手と交流できる魅力を伝えていく必要がある。
- 体操教室については昨年に引き続き参加人数が多く、好評を得ている。昨年の反省を活かし内容を容易に変更することができた。

課題など

- 参加する事業所の拡大
- 子どもの参加率を上げる取組(サッカー、ラグビー等)
- 継続的な運動習慣へ繋げられる仕組み作り